高島市民クラブ

『何故・なぜ・？』から脱却

八田 吉喜 議員

問 5年、10年先のまちづくりで大切な事は、過去の失敗に毅然と立ち向かい、愚策を繰り返さない反省と誓い、それを糧とした『市民本位の良策の執行』を真剣に考えるべきである。

・効果の程が定かで無いのに巨費を投じた「熱供給施設」。

・『人目につかない人里離れた山中で良い』と主客転倒と時代遅れの考えで建設した「ゴミ焼却施設」。

・3千万円近い税金や補助金を周辺住民が建設反対しているのに交付する「民間老人福祉施設」。

・効率が悪く効果が期待できない地中熱を利用した循環型冷暖房設備のある「静里なのはな園」。

・地球環境への負荷軽減のみに目を奪われ、素足で遊ぶ園児の事を度外視し、ワイン樽の廃物利用で作ったテラスがある「大師山さくら園」等々。

市内には様々な『何故こんな所に？』『何故この様なことに？』と疑問視せざるを得ない事象が沢山有り、これらは『何故・なぜ・？』の一部である。

公共施設一つひとつのあり方を市民に軸足を置き、市民本意に再検証すれば様々な『不合理』や『理不尽』が見えてくるはずだ。

どの様に仕分け、整理したうえで『説明責任』を果たされるのか。

答 市長

施設の設置目的、利用状況と費用対効果を検証

熱供給施設は、新旭町エネルギービジョンに基づき建設されたもので、バイオマスエネルギーを使用した国内でも目新しい取組みでしたが、ご指摘の内容も含めて施設のあり方を勉強させていただきます。

ごみ焼却施設、静里なのはな園、大師山さくら園につきましては、いずれも環境問題に配慮し、環境に優しい施設として建設されたものですが、その反面、施設の運用や運営管理においては、専門的知識や技術、多額の費用が必要となっています。

これらの施設を含めた公共施設のあり方につきましては、公共施設見直し指針を定め、市全体としての一体性を確保するため、重複や過剰な配置を避け、効果的かつ適正な施設配置と新たな施設需要への対応を図ることを基本としています。

既存施設の見直しにつきましては、指針の中で①廃止又は転用②統廃合③管理委託④地域団体等への移譲⑤存続（直営）という5つの方向を示し、設置目的の達成度、類似施設の有無、利用状況と費用対効果等、7つの視点から、施設ごとに見直しの方向性と時期を検討しています。

具体的な見直しの実施に当たっては、市民生活への影響が大きいと思われるものについては、市としての考え方を説明したうえで、地域住民の皆様、利用者の皆様の声をお聞かせいただきたいと考えております。

今後の見直しが検討される「熱供給施設」

環境に配慮？し建設された「ゴミ焼却施設」

一般質問

有料化でなく市民との共同でゴミ減量を

粟津　まり　議員

問 可燃ゴミの6割を占める紙ゴミの分別で処理経費の節減等が図れる。減量目標を示すとともに、市民に協力を得るために古紙集積所を増やす必要があるのでは。有料化方向も示されているが、有料化で減量化は進まないし、一般廃棄物の収集・処理は自治体の責任で行うべきものではないか。早期実施に踏み出せ。

答 市民環境部長

ごみ処理対策の課題解決に向けて

ごみの分別収集を推進するためには、市民皆様のご理解と協力が不可欠であり、一定の数値目標を示すことが肝要です。ごみ対策は、市民生活に直結することから、来年度、高島市一般廃棄物処理基本計画を見直す中で、これら課題について研究してまいります。

問 バス運行改善は早急に

見直し実施の半年延期について議会に何ら説明が無かったことは遺憾。地域審議会にも説明を。タクシー会社の認可手続きの遅れがあったとしても、市営バスの路線変更等は議会が議決すれば実施可能。期待する市民のためにも先行実施を。

答 土木交通部長

来春実施に向けて準備を進めています

実施時期の延期につきまして、大変ご迷惑をお掛けしお詫び申し上げます。

各地域審議会の皆様には、早急にお詫びとご説明をさせて頂きます。なお、実施については、市内同時実施となりますのでご理解の程お願いいたします。

その他の質問

◆子宮頸がんワクチン助成の早期実施を

国際親善と今後の観光振興について

大日　翼　議員

国内外の都市との友好親善交流は、当市の観光振興の重要な要素の一つと考え伺う。

問 姉妹都市との交流事業の実施について。

答 市民環境部長

計画的な交流推進を心がけます

国内6都市、国外2都市と交流しています。

問 姉妹都市締結や中止は、議会への報告、議決なくして出来るのか。

答 交流の基礎となるのは市民合意ですので、今後は適切に報告などを行います。

問 市内小中高生による交流の実態は。

答 教育部長

国際情勢の変化や相手校の事情により、現在は訪問や派遣事業は行っていませんが、学校の教育活動の中で交流をしています。

問 北海道ニセコ町との小学生の相互交流は今年で中止。何故か。

答 教育部長

市民レベルでの交流を支援します

市民や団体が主体的に交流を続けていただき、市はその交流事業に対し支援します。

問 高島市国際協会が設立され1年が経過。今後の取組みは。

答 市民環境部長

在住外国人と市民との交流を主体に、国際的視野や語学などに興味を持っていただけるよう交流サロンの開催等を進めます。

問 8月、藤樹献書会一行は、市長の親書を抱え中国浙江省余姚市を訪問。何故この会に対して支援されないのか。

答 今回の訪問は、実施を知った段階で予算化が困難でしたが、今後は計画的な実施に対しては支援に配慮してまいります。

問 急増する中国人観光客を取込むためには、合併前の町村が培ってきた友好親善を基に、具体的に交流を進める姿勢が必要と思うが。

答 産業経済部長

外国人観光客の受入体制の整備に努めていきます

合併前の地域で培われた国際交流、国際親善が縁となり、市の国際観光振興に繋げられるよう、受入整備について「びわ湖高島観光協会」と協議してまいります。